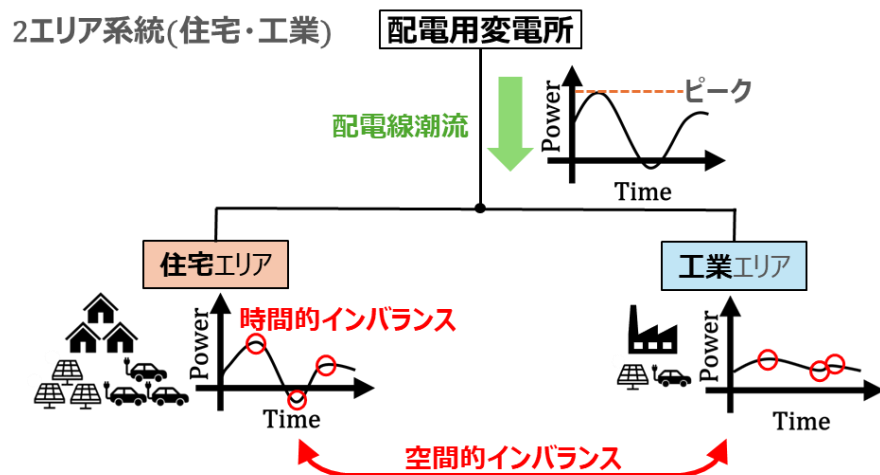


スワッピング型EVバッテリーをエネルギーキャリアとして活用した電力需給モデル

修士1年 松浦英寿

背景

配電系統内には需要・再エネ発電の特性が異なる地域が混在

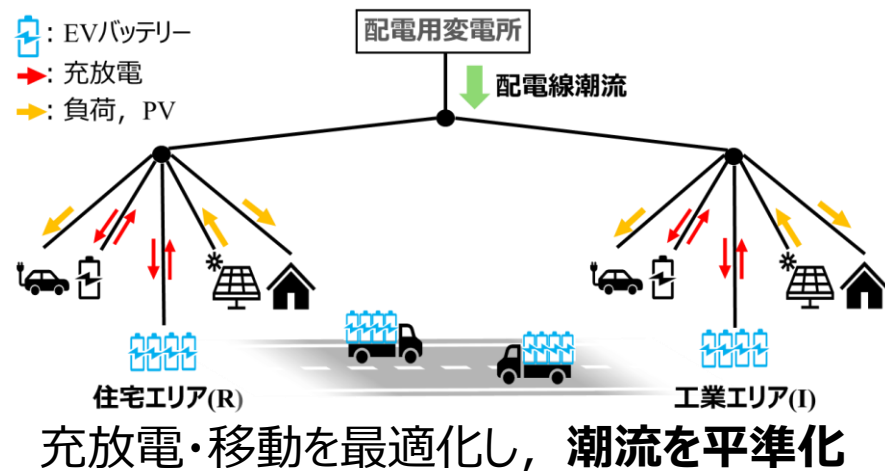


課題

- ・ピーク時に合わせた設備容量が必要
 - 負担するコストが増加
- ・電圧のばらつき
 - 適切な電圧安定性の維持が困難

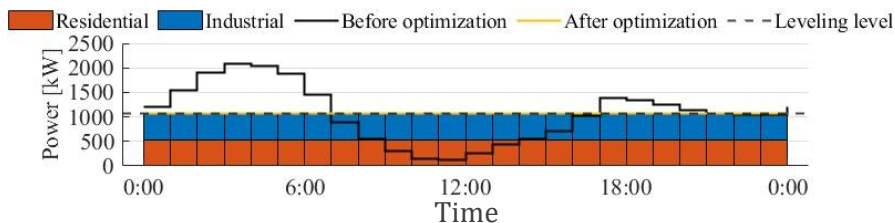
提案手法

スワッピング型EVバッテリー, EVトラック, BESSによる需給調整



結果

最適化後潮流



- 設備コストの削減, 電圧安定性の維持